

# 安芸市奈比賀地区 地域農業の未来を考える集落座談会（1回目まとめ）

1. 実施日時：令和6年8月23日（金）14:00～16:00

2. 実施場所：安芸市立奈比賀公民館（安芸市奈比賀365-1）

3. 参加者：地域の担い手等（12名）  
JA高知県安芸営農経済センター（3名）  
高知県安芸農業振興センター（2名）  
安芸市農林課（1名）

計18名

4. テーマ：「奈比賀地区が目指す農業の将来像」

5. 会議録（参加者からの意見）

## ①地域農業の現状及び課題

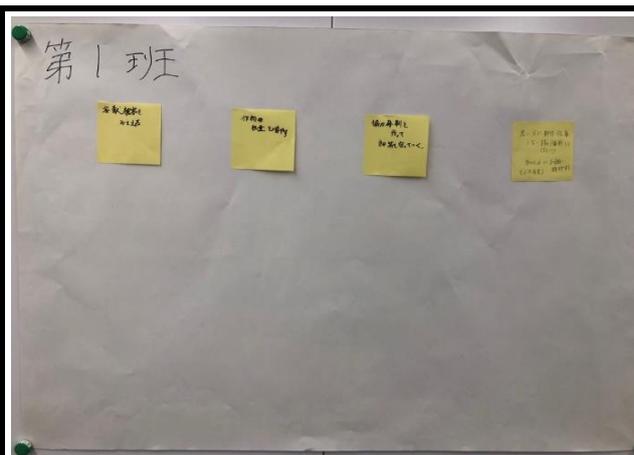
- ・地区全体で鳥獣被害が深刻化しており、耕作者の営農意欲を減退させている。
- ・条件の悪い農地が多く、園地までの道整備を含めた農業しやすい環境を整えないと、次の担い手が見つからない。
- ・農業収入は増えないが、肥料や農薬などの経費は高騰している。
- ・経営が不安定で人が雇えず、栽培管理が不十分となって収量（秀品率）と収入が落ちる悪循環に陥っている。
- ・拡大する耕作放棄地を活用して、地区全体で農業収入を増やす取組が必要。
- ・地区外からの新規就農者や若年層の担い手を積極的に受入れたい。
- ・農地を集約して若い担い手が農業しやすい地域にしないといけない。
- ・自家消費が大半の稲作は、採算が合わず作付けをやめる農家が増えている。

## ②課題解決に向けた取組

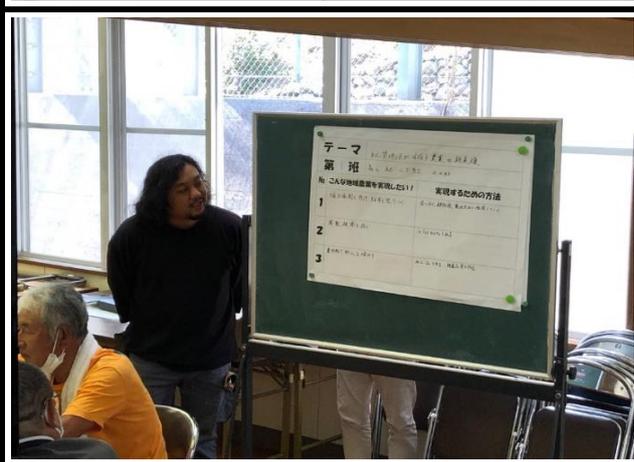
- ・駆除と防除の取組を強化して地区内の鳥獣被害を減らすとともに、ジビエ活用の可能性を検討する。（狩猟免許取得の推進など）
- ・ドローン等を活用したスマート農業を展開して、儲かる農業を実現する。
- ・農作物の加工品を含めた特産品づくりに取り組む。
- ・新たに集落営農組織を立ち上げ、耕作放棄地の解消や地域の農作物を使った特産品づくりを進める。（県セミナー受講など準備を開始している）
- ・地域の遊休農地を地区外からの耕作希望者に担ってもらう仕組みづくり。
- ・地域で収穫された農作物を集めて販売する方法を検討する。

## 【座談会の様子】

### 《第1班》



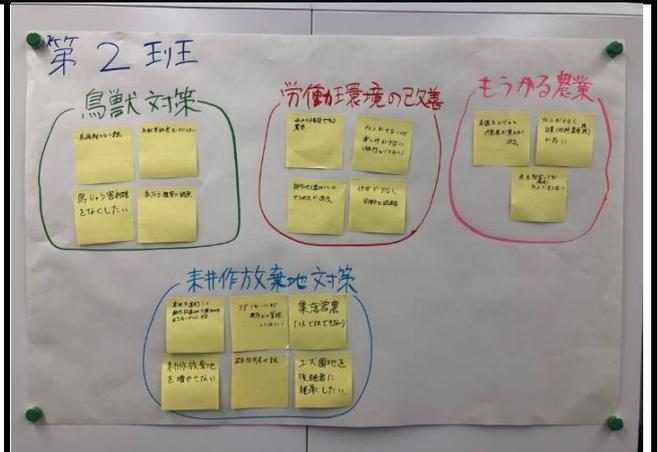
テーマ		
南北賀地区が目指す農業の将来像		
第1班		
No.	こんな地域農業を実現したい！	実現するための方法
1	協力体制と作て 知等と守ていく	若い方に耕作放棄 棄地を有効活用していく
2	若 農 継 承 と 防 ぐ	ほりめんと知る
3	農作物で収入を増やす	加工品を作る、特産品を作る



### ■班内で出された意見■

- ・年間を通じて収量を増やせるような取組をしたい。
- ・集落営農組織など地域で協力体制を取って農地を守る取組ができないか検討している。
- ・若い人に耕作放棄地を活用してもらいたい。
- ・当地区のユズ栽培では、消毒等に手が回らないため秀品率が落ちて収入が上がらず、その結果、作業人を雇う資金も不十分となり、耕作を断念するという悪循環になっている。
- ・慢性的な人手不足ではあるが、収穫期は地区外に住む家族等の手伝いで対応しており、アルバイトを雇ってまでという農家は上記の理由から少ない。
- ・有害鳥獣による作物被害が深刻化している。地区で狩猟免許取得を推進するなど、駆除の取組を進めたい。
- ・入河内大根のような地域の農作物を作って収入を増やしたい。
- ・新たな営農組織を立ち上げて、地域の農作物を使った加工品や特産品づくりに挑戦したいと考えている。県のセミナーなどにも参加して準備を進めている。

## 《第2班》



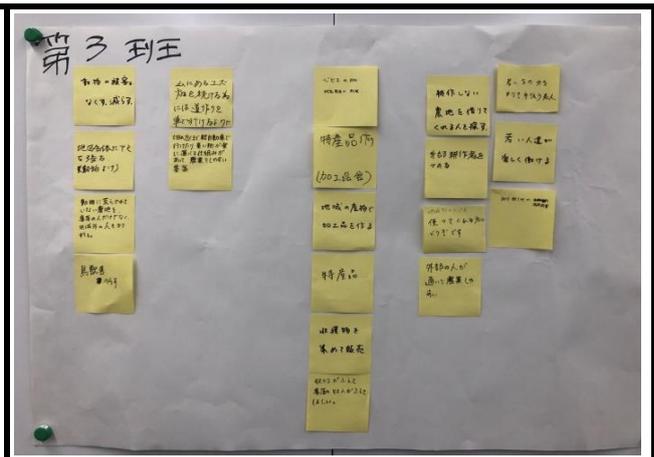
テーマ 奈比賀地区が目指す農業の将来像		
第2班		
No.	こんな地域農業を実現したい！	実現するための方法
1	鳥獣被害被害のない農業	地域で協力して鳥獣害ネットの設置 鳥獣害ハンターの育成
2	耕作放棄地をゼロにする	集落営農で耕作放棄地をなくす。 地域外から、人を呼びこむ(新規就農者等)
3	労働環境を改善しもうかる農業を実現する	ドローン等を活用したスマート農業の実現



### ■班内で出された意見■

- ・地域で協力して防除ネットを設置するなど、地区内の鳥獣被害をなくしたい。
- ・地域で鳥獣駆除ハンターを育成できないか。
- ・集落営農組織により耕作放棄地をなくしたい。
- ・新規就農者など、地域外から担い手を呼び込む取組が必要。
- ・収入は少ないが、経費（肥料、農業資材等）が高騰している。
- ・稲作は収入が低く経営していけない。
- ・ドローン等を活用したスマート農業を展開して、儲かる農業を実現したい。
- ・農業は休みが少なく労働も過酷。収入も少ないので楽しみが少ない。
- ・耕作地（農地）へのアクセス道を改良するなど、労働環境の改善を図りたい。
- ・タダでも良いので農地を耕作又は管理してほしい。
- ・農地を集約して耕作放棄地を出さない取組が必要。
- ・若年層の就農者を育成する必要がある。

## 《第3班》



テーマ 余比賀地区が目指す農業の未来像		
第3班		
No.	こんな地域農業を実現したい！	実現するための方法
1	特産品が伸びる農業	→ 一番適した作物を決める → 加工場をつくる → 農地への道の整備されている
2	若い人が楽しく働ける農地	→ 重たい物が楽に運べるお貸し仕組み → 地域外の人に来てくれる
3	鳥獣被害が少ない	→ 金網を茅葺合城にはさ



### ■班内で出された意見■

- ・ 動物による作物被害をなくしたい。地区全体に防除ネットを張れば良い。
- ・ ジビエ肉を加工して地区特有の料理を作る。
- ・ 中山間で農業を続けるためには、農地まで車で行けるような道を整備する必要がある。
- ・ 畑近くまで軽トラで行って重い荷物を楽に運べるなど、農業をしやすい仕組みづくりを。
- ・ 収量が増えて集落の農家の収入が増えてほしい。
- ・ 農作物の加工品を含めた特産品づくりに取り組みたい。
- ・ 収穫した農作物を集めて販売したい。
- ・ 遊休農地を地区外の耕作者に任せたい。
- ・ 外部の人が通いながら農業しやすい地域を目指す。
- ・ 若い人が楽しく働ける農業。それを手伝う高齢者。